

# J S 様 邸

## フェンス新設・門扉新設・他工事完了報告書

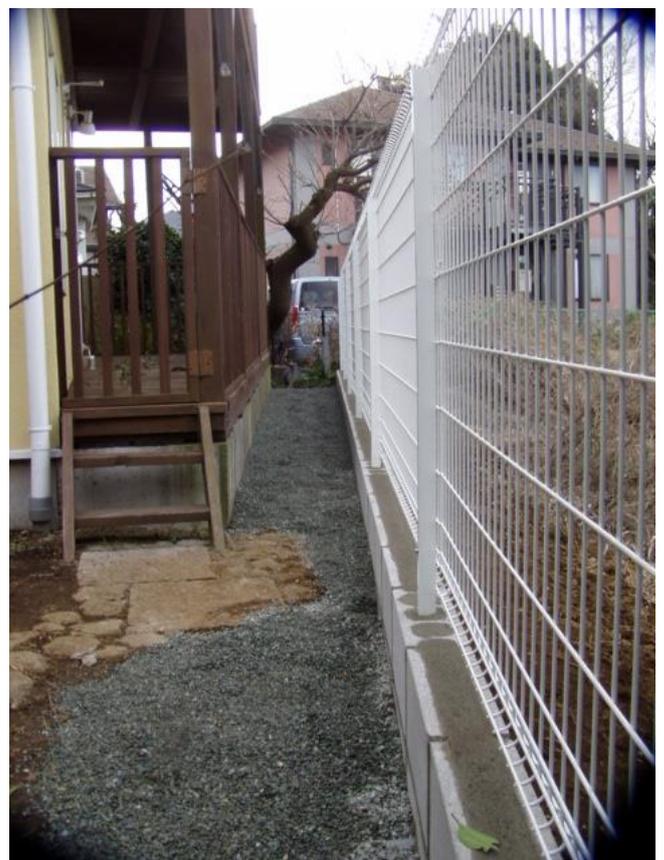
施工場所 横浜市港北区日吉本町3

工事内容 フェンス&門扉新設及び補修工事  
作業期間 自 : 平成27年2月10日  
至 : 平成27年2月13日

(敷地西側 ・ 工事前現状)



(敷地西側 ・ ブロック工事&フェンス工事後)



### 【使用材料及び部材】

ブロック材・普通ブロック CB120 72本  
メッシュフェンス・ユメッシュ HR 型2012(三協立山アルミ) 7枚セット  
片開き門扉・ニューカムフィー2型0912(三協立山アルミ) 2セット



## 株式会社 日吉 プラス

224-0041 横浜市都筑区仲町台 3-12-4-223

TEL&FAX : 045-941-3355

# 1) ブロック積み & フェンス新設工事

## ① 遣り方 (境界を示す杭を起点に、高さなどの正確な位置決めをする)

計測用レーザーレベルを使い、高さ、境界などを正確に測定し、水系張り確定する。

(着工前の敷地境界)

(測量の邪魔になる植栽を伐採し水系を張る)



## ② 根切り掘削 → 砕石入れ転圧

ブロック積み部分を掘削し、コンクリートで基礎を作ります。

地震などでも倒壊しないように、しっかりとした基礎を作ります。深さ 35 cm 以上埋めなければなりません。

この埋め込む深さを根入れ深さといい、法律で決められています。

(計測された水系に沿って掘削していきます)

(溝に砕石を入れ、丁寧に転圧しておきます)



### ③ ベースコンクリート打設⇒ブロック積み

ブロック積みする敷地に傾斜があるため、4mほど3段積みとなります。

コンクリートは速乾性なので打設と同時にブロック積みを施工していきます。

1段目を積みながら鉄筋(縦筋)を入れ、水平、垂直を確認しながら2段目を積んでいきます。



### ④ 横筋と充填モルタル&目地モルタル

1段積みごとに横筋を入れて結束、その上からモルタルを充填していきます。

このモルタルはブロックの空洞部に入れられた鉄筋の周りに詰められるものと、隣り合うブロック部分にできる空洞部(たて目地)の部分に詰められるものがあり、いずれもブロック塀を一体とするため、

また鉄筋のさびなどを防ぐ重要な役目をします。目地モルタルはブロック同士をくっつけ、ブロックが1枚の壁として強さを長持ちさせるため、隙間なく全体に行き渡らせることが大切です。



⑤ 目地と天端のモルタル仕上げ & フェンス柱設置

ブロック積みが終わったら、縦&横目地を目地罎で仕上げ塗りをします。フェンス用柱を立てて、天端にモルタルを充填し、柱の固定と天端仕上げを同時に施工していきます。



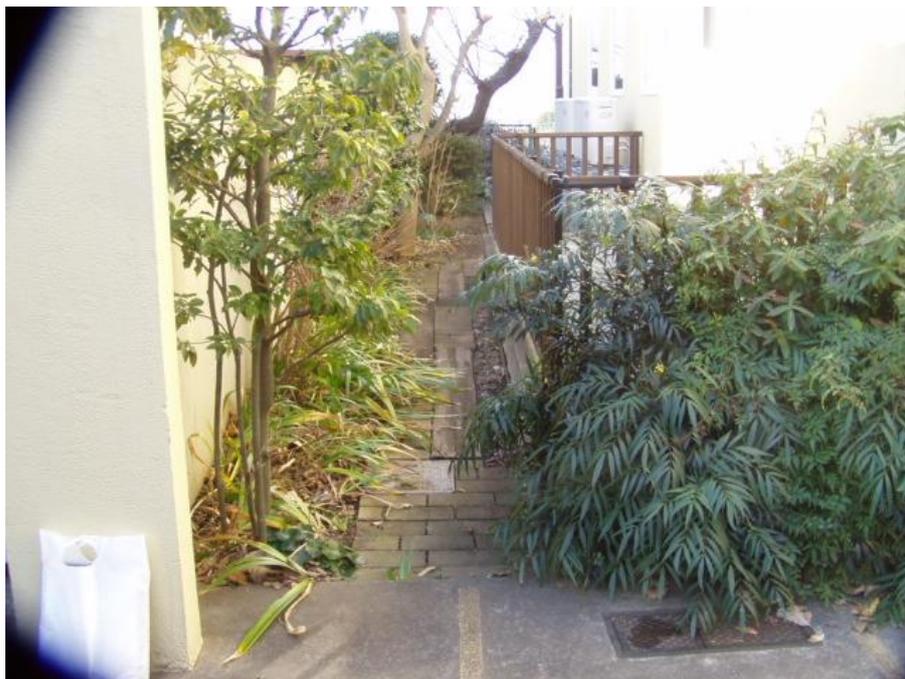
⑥ フェンス取付とビリ砂利敷き込み。

**ブロック積み工事&フェンス取付工事の完成です。**



## 2) 片開き門扉新設工事

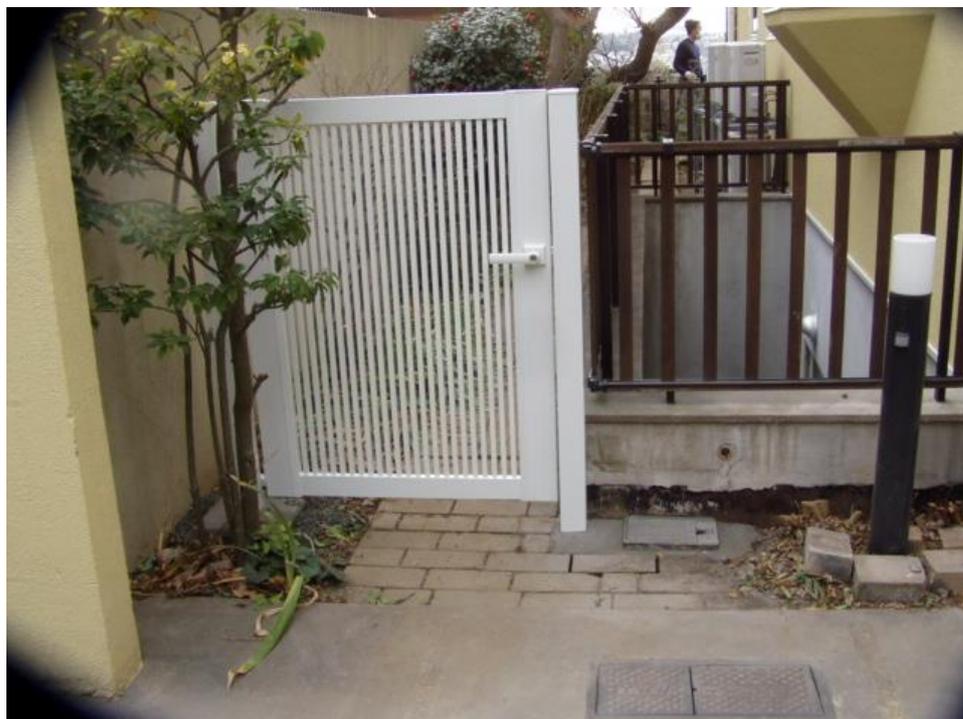
### ① 南面通路口に片開き(900幅)の門扉を新設



柱設置位置に散水栓があり、BOXごと移設する。又、門扉開閉時に植栽が邪魔するので、選定と撤去をしました。

撤去した、柳葉榕南天やアベリアは、根元から芽吹きしますのでご安心ください。

散水栓は撤去の予定でしたが、移動すれば、門扉の柱設置が可能でした。掘削したら、排水管も出ましたので、移動して、柱設置としました。



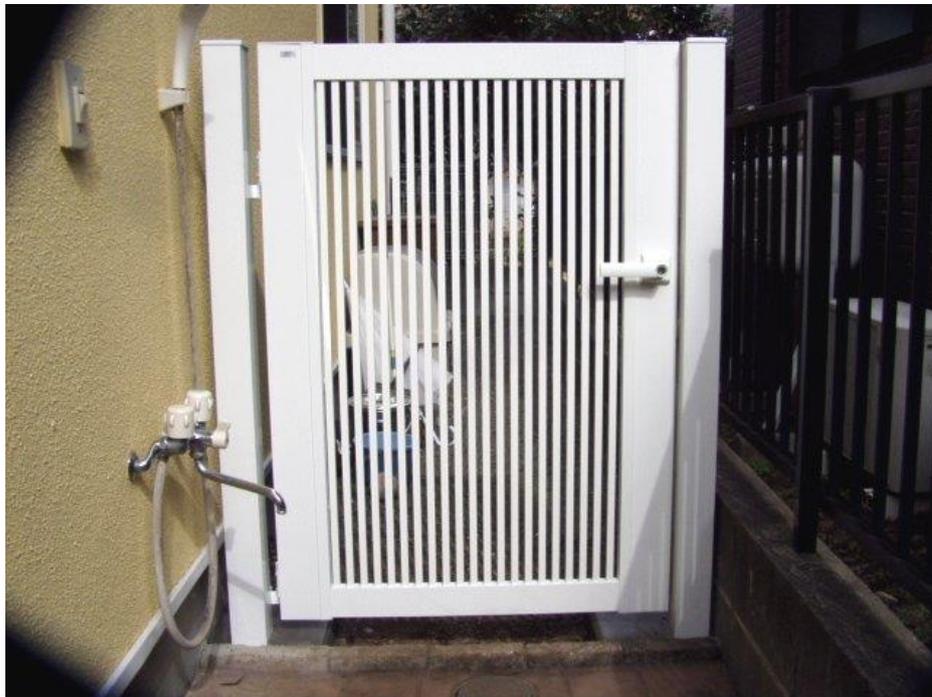
**南面通路口門扉設置完成**  
幅900 高さ1200片開き門扉

## ② 東面通路口に片開き(900幅)の門扉を新設



門扉サイズは $900^W \times 1200^H$ を設置しますが、柱と柱の間が狭く、扉を取り付ける前に40mmカットしてから設置します。

躯体側とブロック塀側を掘削したところ、両方とも配管がありましたので、柱の固定を強固にするため、型枠を組んでコンクリートで固定しました。



**東面通路口門扉設置完成**

幅860 高さ1200片開き門扉

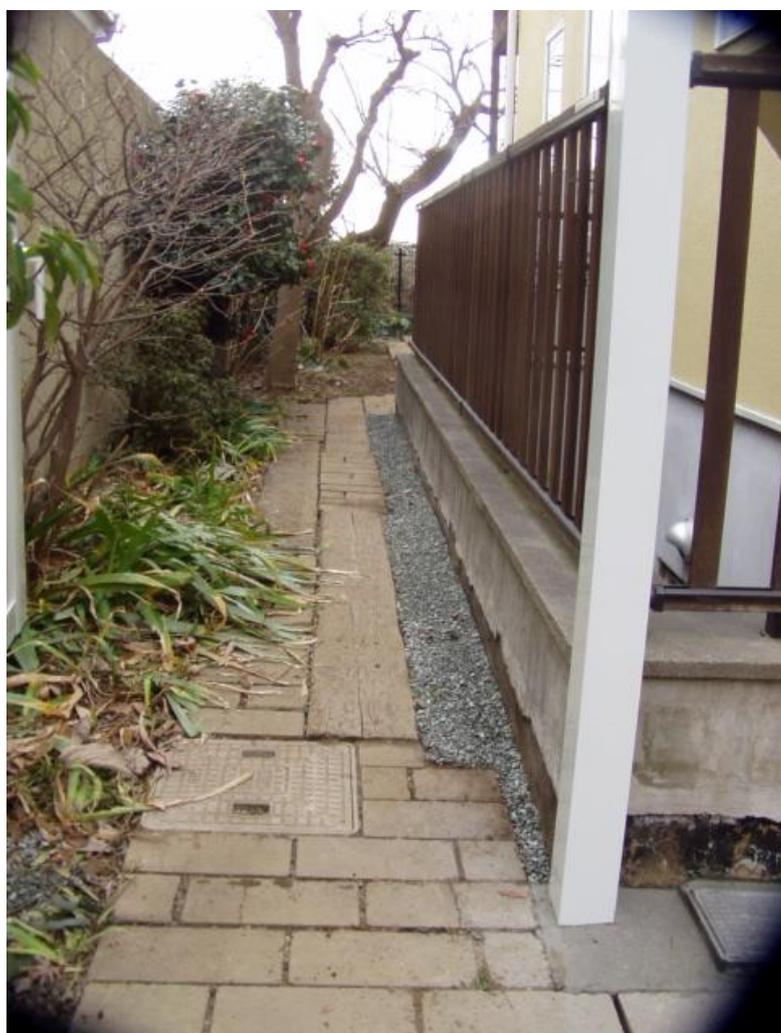
### 3) ドライエリア・擁壁防水シート撤去工事

擁壁外防水層が剥離して雨水が溜まり、夏に蚊が発生して困っている。

水たまりが出来ないように切り取ってほしい。

(既存の防水層剥離状況)

(防水層を切り取りした画像)



防水層を切り取りしたのち清掃し、  
ビリ砂利を敷き込みしました。

#### 4) 基礎コンクリート・モルタル仕上げ補修

化粧仕上げのモルタルが剥離していましたので、上塗り補修しました。

